

奄美群島振興開発計画の実施状況等について

平成20年2月13日

鹿児島県

I 奄美群島振興開発計画の概要

1 策定年月

平成16年8月(計画期間:平成16～20年度)

2 計画の特徴

(1) 振興開発に当たっての新たな視点

これまでで不利性として捉えられていた地理的、自然的条件など奄美群島の特性を優位性として捉え、奄美群島の自立的発展に向けて、温暖な気候や豊かな自然、個性的な文化など、奄美の魅力や資源を活用した癒しの島づくりのための施策の展開に配慮した。

(2) 計画の内容

ア 振興開発の方向

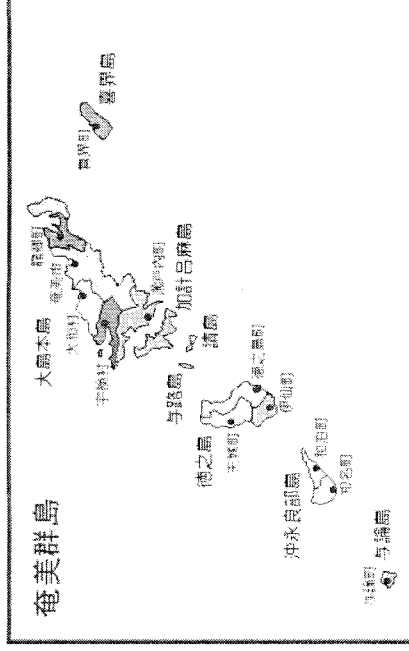
振興開発の方向は、国の奄美群島振興開発基本方針(平成16年5月告示)及び県が実施した奄美群島振興開発総合調査を踏まえ、次の5つの柱を基本とした。

- ① 地域の特性を生かした産業の展開……農業、水産業、林業、商工業など
- ② 豊かな自然と個性的な文化を生かした観光の展開
- ③ 人と自然が共生する地域づくり
- ④ やすらぎとうるおいのある生活空間づくり……福祉、保健医療、教育文化など
- ⑤ 群島内外との交流ネットワークの形成

イ 島別振興方策

島ごとの特性に応じた振興開発が図られるよう、それぞれに、法が定める事項について振興方策を記述した。

- ① 奄美大島
- ② 加計呂麻島・請島・与路島
- ③ 喜界島
- ④ 徳之島
- ⑤ 沖永良部島
- ⑥ 与論島

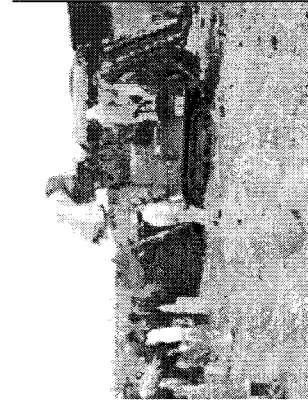


II 奄美群島振興開発計画の主な成果と課題

1 地域の特性を生かした産業の展開

主な成果

<さとうきびの振興>



ハーベスタ収穫等の機械化により、農作業の省力化や大規模農家の育成等が進展

<畜産の振興>

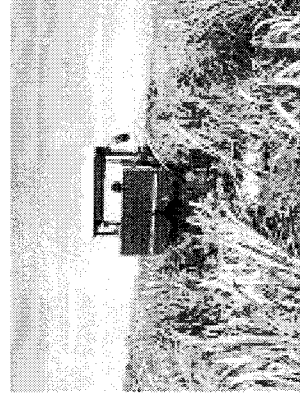


肉用牛子牛の出荷頭数は県内第3位の生産規模で、群島農業産出額の20%以上に拡大

主な課題

● さとうきびについては、「さとうきび増産計画」に沿って、受託組織の育成等により、生産振興及び農家経営の安定を図る必要がある。

● 畜産については、飼料生産基盤の整備や技術の向上のほか、環境に優しい畜産経営を推進する必要がある。

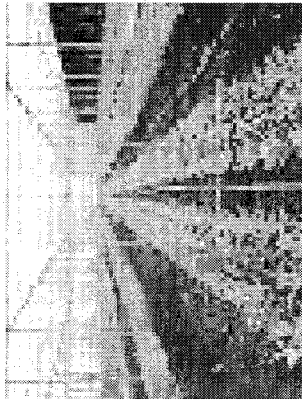


1 地域の特性を生かした産業の展開

(前頁に続き)

主な成果

〈園芸農業の振興〉



防風・防虫効果による花き等の品質向上・生産安定に寄与する平張施設を整備

〈養殖漁業の振興〉



大島海峡は日本一のクロマグロ養殖産地に成長
中国・米国へも出荷

〈地場産業の振興〉



黒糖焼酎のH18年度移出額は約100億円（H7年度の約2.7倍に拡大）

〈企業立地の促進〉

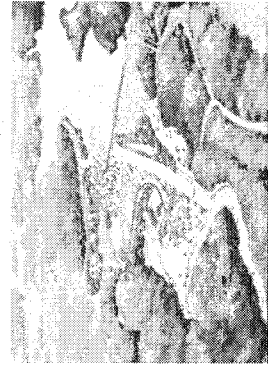


奄美市にコールセンターが操業開始（H17年）。与論町に部品製造工場が立地協定（H19年）

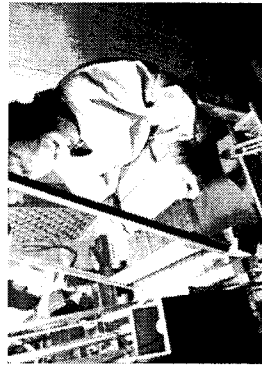
主な課題

● 亜熱帯性の温暖な気候を生かした農林水産業の振興を進め、生産拡大及びブランド化を推進する必要がある。

〈徳之島ダムの完成予想図〉



● 徳之島・沖永良部島における国営かんがい排水事業など、生産・流通基盤の整備及び担い手育成を推進する必要がある。



● 大島紬等地場産業のほか、地域資源を活用した産業振興を図る必要がある。

● 独立行政法人奄美群島振興開発基金について、群島の産業・経済の実態に対応した、地域密着型の政策金融機関としての業務・機能の充実に促進する必要がある。

2 豊かな自然と個性的な文化を生かした観光の展開

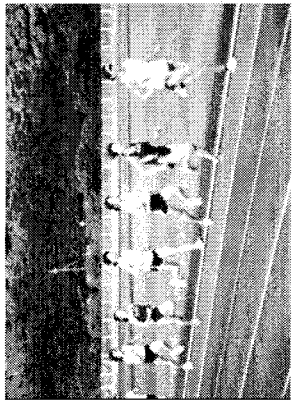
主な成果

<観光施設の整備>



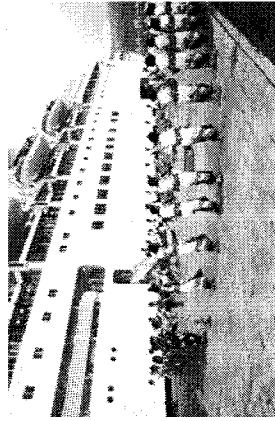
H18年12月にオープンした「タラソ奄美の竜宮」は、これまでの利用客10万人を突破

<スポーツ合宿の誘致>



陸上競技を中心に誘致実績を上げ、県内一の合宿地。経済波及効果も大きい

<クルーズ観光の促進>



名瀬港等への大型旅客船の寄港誘致が実現し、多くの乗船客が島内観光

<観光情報の発信>

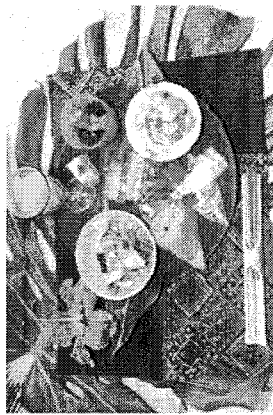


東京で「体験交流イベント」を開催し、魅力ある自然、文化、特産品をPR

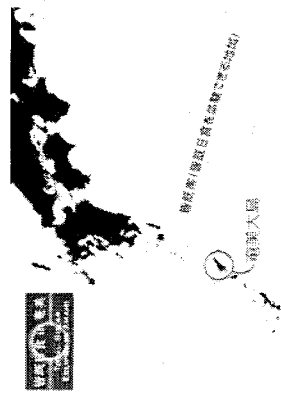
主な課題

- 豊かな自然の多様性や独特の伝統・文化、健康・長寿・癒しの地域資源を生かして、競争力のある体験・滞在型の魅力ある観光地づくりを進める必要がある。

- 長寿食材を活用した郷土料理の提供や人材育成など、受入態勢づくりを強化する必要がある。



- 2009年「皆既日食」など、魅力あるイベント開催等により、群島内外への観光PRを強化する必要がある。



- 世界自然遺産登録を見据えた観光地づくりや、経済発展が著しい中国等東アジアからの誘客を視野に入れた、観光の展開方策を検討する必要がある。

3 人と自然が共生する地域づくり

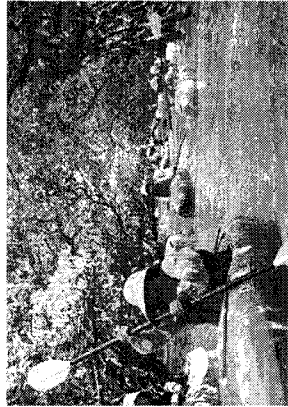
主な成果

〈世界自然遺産登録の推進〉



地元に登録推進協議会を設置し、国立公園指定等の要望及び自然保護意識の醸成

〈エコツーリズムの推進〉



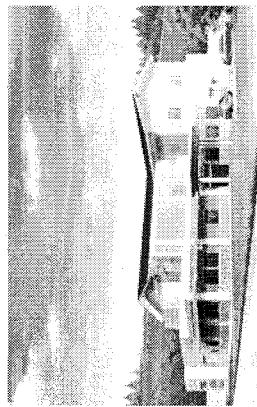
魅力ある自然や固有の文化等を体験する県外からの修学旅行客の受入拡大

〈自然環境の保全〉



貴重なサンゴ礁を保全するため、オニヒトデ駆除やサンゴ着生試験を実施

〈循環型社会の形成〉



奄美市に汚泥再生処理センターを整備中
H20年4月に供用開始予定

主な課題

● 地元の自然保護意識の醸成に努めながら、世界自然遺産登録の前提となる国立公園等の指定及び遺産登録の早期実現を目指す必要がある。

● マングース駆除のほか、ノヤギ、ノイヌ、ノネコ等の対策も進め、希少野生動物植物の保護を強化する必要がある。

● 水道、公共下水道など、快適な生活環境の基盤整備を促進する必要がある。

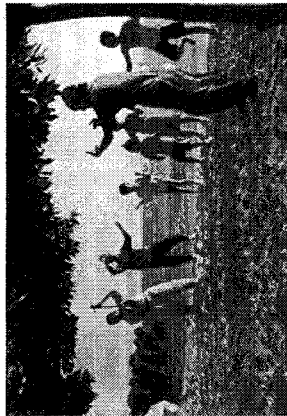
● 貴重な野生動物植物や魅力ある景観に配慮しながら、自然環境配慮型・自然再生型の公共事業を進める必要がある。



4 やすらぎとうるおいのある生活空間づくり

主な成果

〈長寿・子宝プロジェクト〉



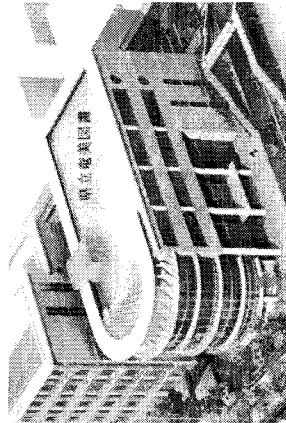
島唄・島踊りやタラソテラピーの体験ツアーを実施し、健康・癒し効果を実証・PR

〈治水及び利水対策〉



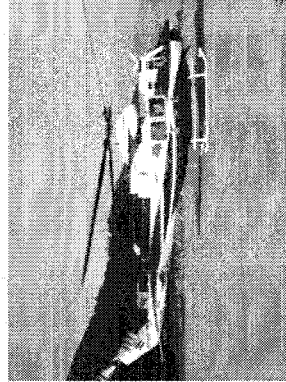
平成19年6月に「大和ダム」が竣工。河川の洪水対策と生活用水の確保に寄与

〈教育施設の整備〉



県立奄美図書館をH19～20年度に整備中
H21年4月に開館予定

〈救急医療体制の充実〉



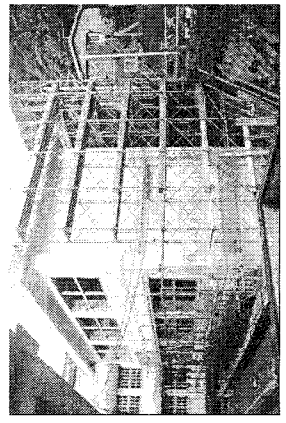
H20年度に救急用ヘリポートを整備し、安全・迅速な急患搬送体制を強化

主な課題

- 結(ユイ)の精神も踏まえた高齢者福祉対策を充実して、高齢者が生き生きと暮らせる長寿社会づくりを推進していく必要がある。
- 産婦人科医のいない島の妊産婦の負担軽減や医師確保対策など、地域医療の充実に取り組む必要がある。
- 猛毒なハブ咬傷の危害を防止し、安心して生活ができるよう、駆除・咬症対策を推進する必要がある。



- 固有の伝統・文化を保存・活用しながら、地域の活性化を図っていく必要がある。



- 老朽化した学校施設の建替のほか、将来の奄美を担う人材育成に取り組む必要がある。

5 群島内外との交流ネットワークの形成

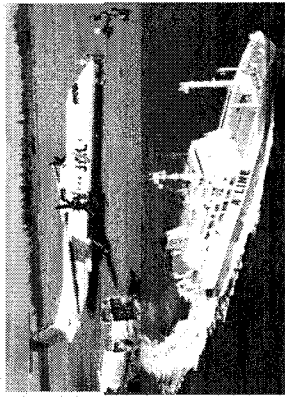
主な成果

〈道路網の整備〉



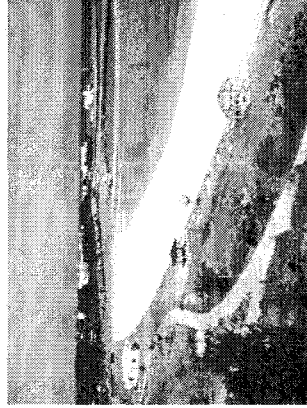
H17年12月に国道58号和光バイパスが供用開始
市街地の交通混雑解消に寄与

〈航路・航空路の充実〉



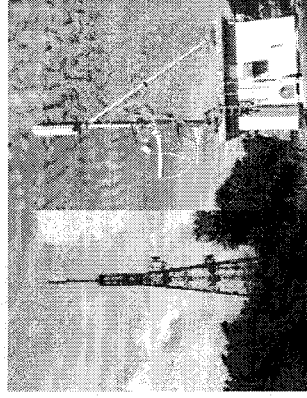
DASH8-400型機, 新「フリーあまみ」が就航し, 本土との交通アクセスが改善

〈海洋レクリエーション基地の整備〉



H19年3月に与論島コースタルリゾートが完成, 海洋レクリエーションにも活用

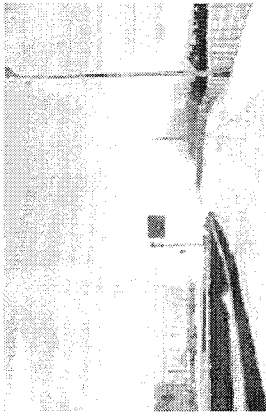
〈情報通信基盤の整備〉



H19年度から地上テレビ放送のデジタル中継局の整備を開始

主な課題

● 産業・交通・生活の基盤となる道路, 港湾など, 必要な社会資本整備を引き続き推進する必要がある。



● 地上デジタルテレビ放送への円滑な移行を図るほか, ブロードバンド基盤の整備を促進し, 本土との情報通信格差を解消する必要がある。

● 東京・大阪等からの観光客など, 交流人口の拡大を図るため, 航空運賃の低減化等の要請に努める必要がある。

● 団塊世代や若年層等のUIターン者の交流・移住を推進できる受入態勢づくりを強化する必要がある。

